

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人 桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	2018年1月6日
評価確定日	2018年2月28日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 29 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日
		指定年月日	平成16年8月1日
法人名	医療法人 桜城会		
事業所名	グループホーム友愛		
所在地	(246-0037) 瀬谷区橋戸3-26-6		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	平成29年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成30年4月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族的な雰囲気のもとで個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成30年1月6日	評価機関 評価決定日	平成30年2月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所の経営は医療法人桜城会です。医療法人桜城会は、グループホームの他、友愛歯科医院も運営しています。グループホーム友愛は、以前事業所があった場所から約100m離れた場所に新築移転して3年が経ちました。新しく移転した場所は、目の前に橋戸南公園もあり、公園で遊ぶ子供達の声がりびんぐにも届き、利用者の楽しみになっています。「グループホーム友愛」は相鉄線「瀬谷駅」から徒歩15分程度の住宅地にあり、外観は住宅地の景観に馴染んだ造りになっています。

●職員の勤続年数も長く、管理者、職員、利用者、家族間の関係も構築できています。理念にも掲げている「家庭的な雰囲気」の下、職員間の意思の疎通が図られ、お互いフォローし合いながら利用者のケアにあたっています。年々利用者の重度化が進み、ADLの低下が進んでいくなか、極力身体を動かす機会を作り、出来ない事を職員が支援し、利用者のADLの低下を遅らせて自立に向けた支援に取り組んでいます。

●地域との関係については、自治会長が近くに住んでいる為、日頃から声をかけていただくなど、他の地域の方との橋渡しにもなっています。目の公園で行われる夏祭りでは、焼き鳥やフランクフルトの模擬店の出店での参加、また、認知症高齢者徘徊ネットワークに登録した事で、徘徊者を事業所で保護し、家族に連絡するして無事に家庭に戻ることが出来た等の実績もあります。散歩時の地域の方々とのふれ合いや、商店街での買い物を通して日常的にも交流する機会をもつようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	◎	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	◎	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	◎	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	◎	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		◎	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	◎	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	◎	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	◎	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		◎	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		◎	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	◎	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	◎	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	◎	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	まさにそのとおりだと思う。	事業所の理念に「家庭的な雰囲気のもとで個人の人格を尊重し、自立のお手伝いをします」と掲げています。自分で出来る事はしてもらい、出来ない部分を職員が支援するという考えで、日々ケアに取り組んでいます。理念は、玄関や事務所に掲示し職員への周知を図っています。また、勤務年数の長い職員が多く、理念も浸透しています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	祭りや地域とのつながりは一層深まっている	南橋戸治自会に加入しており、自治会の行事は積極的に参加しています。夏祭りでは、事業所で焼き鳥やフランクフルトの模擬店を出しています。ボランティアは、入居者の家族が所属するフラダンス、クリスマス会でコーラス、尺八での演奏に来ていただいています。寿クラブに加入し、敬老の日に御祝いのお菓子を皆で頂いています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの公園等で困った方など地域に溶け込んだ付き合いをしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	そのとおり実行している。	運営推進会議は、偶数月に設定して2ヶ月に1回開催しています。事業所における行事予定や実施状況について報告し、参加者からは地域の情報や行事等を紹介していただいています。現状では、家族の参加は未だに叶っていませんが、これからも継続して声掛けすることで参加していただけるようにしていきたいと考えています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所と徘徊ネットや事業所の状況を支援課とおし連絡している。	認知症高齢者徘徊ネットワークに登録し、地域の徘徊者を事業所で保護し、支援課に連絡する等の取り組みを行っています。市や区の研修の案内が来た際には、職員にも声かけして、積極的な参加を促しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	そのとおり実行している。	身体拘束を行わないことを前提として、職員1人ひとりの自覚を促し、身体拘束を行わないケアを実践しています。行動の制限による拘束以外にもスピーチロックについて、社内研修や行政の講習会に参加することで理解を深め、職員間で情報共有に努めています。玄関は、日中は鍵は掛けておらず、何時でも外に出られるようにしています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	そのとおり実行している。また会議のつど他のホーム等の話をして注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	そのようにしているが今は対象者がいない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	そのようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	そのように心がけている。	生活保護受給者の方が比較的多く、家族の訪問は限られた人になりますが、面会時に意見や要望を伺っています。必要時には、手紙や電話でも近況報告と併せて意見や要望を伺っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等で意見をきいている。勤続年数が長い方等の意見を出せる環境にしている。	概ね月1回は職員会議を設け、職員から要望や意見を聞き運営に生かしています。代表者が管理者としても現場にも入っているため、現場の状況を把握している他、職員とのコミュニケーションも日頃からとれており、良好な関係を構築できています。他の施設での事故や問題を当日の職員と話し合い、申し送りや朝礼で情報共有に努めています。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	そのように勤めている。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	国家試験等援助して取得している。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のホームと交流し勉強している			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	そのようにし早く安心していただける環境を考えている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	そのよう勤めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのよう勤めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	そのよう勤めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	そのよう勤めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	そのように勤めている。	利用者がこれまで築き上げてきた、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう家族にも協力をお願いしながら継続出来るように支援しています。家族、親戚、友人の方々の訪問には、落ちついてゆっくり過ごしていただけるように配慮しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	そのように入居者同士の居室を行ったり来たりしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	街で家族と会うこともありその様な関係を維持している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	そのようにし食事会や買い物会に反映している。	入居者の日頃の会話から、また言葉の不自由な方とは普段の仕草などで、今の思いの把握に努め、ドライブや買い物等にも出掛けています。月1回は個別外出の機会を設け、職員と1対1での外出支援を行っています。普段は口数の少ない方でも、自分の生い立ちや、以前働いていた仕事の話しをしてくれる事もあり、継続できるように支援しています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	そのようにしている、それを怠るとホームの生活がイヤになることを職員が把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	そのように勤めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	そのように勤めている。	介護計画の見直しは、長期は6ヶ月、短期は3ヶ月とし、日々の関わりの中での職員の気づき、意見を出し合い、家族の意見も加味しながら、必要に応じて医師や看護師の意見を基に介護計画を作成しています。意思疎通が可能な方は、本人の意思を尊重する様にしています。変化のある場合は、その都度見直しを行っています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように勤めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのように勤めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	そのように勤めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	そのように勤めている。	協力医療機関のクリニックから月2回の往診の他、訪問看護師が週1回の巡回があります。同法人の友愛歯科で訪問治療及び、歯科衛生指導を全利用者が受けています。協力医療機関とは24時間体制を整えており、状況に応じて適切な助言をいただけるので、利用者や家族、職員の安心に繋がっています。訪問マッサージを週1、2回受けている方もいます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	そのように勤めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように勤めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	そのように勤めている。	入居時に事業所における「重度化、終末期に関する指針」について説明し、延命の有無を本人及び家族に確認し、書面を提出していただいています。利用者の終の棲みかとして、条件が整えば看取り介護を行う方針です。特に身よりのない方には、最後まで事業所で寄り添い、御見送りする方針としています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常にそのよう準備して、張り紙等し慌てぬよう。マニュアル化している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	常にそのよう準備して、張り紙等し慌てぬよう。マニュアル化している。	年2回消防立会いの下、うち1回は夜間想定で訓練を実施しています。地域の方には、運営推進会議を通じて協力をお願いしている他、訓練には毎回参加していただいています。近くの川の氾濫を想定した訓練の際に、ヘルメットやライフジャケットを用意するようにと指導を受けました。備蓄は水、米、缶詰等を用意しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	其のとおりです。	利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った声かけ、サービス提供を心がけています。プライバシーの確保では、トイレ誘導時はさり気無く他の人に気付かれる事のない様声掛けをしています。利用者の感情の起伏が見られた時には、職員で連携を図りながら声かけすることで、気持ちが落ち着くこともあります。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	そう勤めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人外出や買い物に反映している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	そのように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	そのようにしていたが最近職員がすることが多い。	食事のメニューは利用者の意見も取り入れながら、1週間分のメニューを考えています。食材はメニューに合わせて生協から調達しています。誕生日には、近くのケーキ店から買って御祝いしています。時には、近くの小規模多機能の施設のお茶会に参加したり、月1回は個別対応の、本人の好きな食事を食べに出かけています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	そのようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	そのようにしている。	排泄チェック表を基に1人ひとりの排泄パターンを把握し、その方に合わせたトイレ誘導で自立排泄を促し、失敗した場合でもさりげなく、居室やお風呂場で着衣を交換する等、本人の尊厳を傷つけないケアを心がけています。自立している人には排泄時の様子をさりげなく確認し、排泄表に記入しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	そのよう個人の体調を考慮し対処している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	そのよう個人の体調を考慮し対処している。	週2回の入浴を基本とし、希望する利用者には、午前中や午後の各々の入浴支援をしています。入浴の無い日を設け、レクリエーションに当てています。季節のゆず湯も取り入れ、季節感を感じていただくようにもしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	そのよう個人の体調を考慮し対処している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	そのよう個人の体調を考慮し対処している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の趣味や遊びたいこと、やりたい事を優先している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人外出の日を設け一人に一人職員をつけ自由な日を設けている。	毎日の散歩は、数名の方のみになっていますが、あまり外出希望が無い方でも、会話の中できっかけ作りをする等しながら、コンビニやスーパー等買い物に出かけるようにしています。個別対応での外出支援には、利用者、職員にとって関係を深める良いきっかけ作りになっています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人外出の日を設け一人に一人職員をつけ自由な日を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのようにしている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みに合わせた環境にしている。	採光や温度、湿度に配慮し、常に清潔であるように努めています。廊下は車椅子がすれ違える程の広さが確保され、廊下には利用者の笑顔いっぱいの写真が飾られています。月1回の家族の息子さんの訪問時には、恒例のカラオケ大会になり、言葉の不自由な利用者も大きな声で歌い、職員共に楽しみにしています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	そのように勤めている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みに合わせた環境にしている。	居室は、使い慣れた家具や寝具を持ってきて頂き、自由に居心地よく過ごせる生活拠点を作っています。きれい好きな方は、自分で毎日居室の掃除を、ベッドまで移動させてするのが日課になっています。新聞紙でパット用の箱を仕事にして折っている利用者もいます。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の好みに合わせた環境にしている。			

目標達成計画

事業所

グループホーム友愛

作成日

平成30年1月6日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		向上心を持つ	職員全員介護福祉士取得	計画的に受験する	5ヵ年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。